

幸せの歌



JA宗谷南

2016NEN
2GATUGOU
～SEASON47～

平成28年新年交礼会



1月6日、ホテルニュー幸林にてJA宗谷南新年交礼会が行われました。今年は役員だけでなく、新規就農予定者の方々をゲストに迎え、総勢87名の出席となりました。

開会の挨拶で向井地組合長は、組合員や職員自身の為にも、役員が一致団結し、より良い農協運営を目指し頑張ってくださいと、激励の言葉を述べられました。

その後、枝幸町で新規就農を目指す、井出夫妻、米田徹さんと庄司恵美さん、重松夫妻の三組が壇上へと進み紹介されました。

3組の方々には、「これから枝幸町で就農するにあたり、研修を経て枝幸町の酪農家の仲間となれるよう、頑張ってください」と、就農への意気込みを語って頂きました。

その後、小野寺理事による乾杯の発声で宴会が始まり、他部署間で意見交換などをしながら今後の地域農業発展について語り合うなど、楽しい時間を過ごし、開地監事が締めくくり終了しました。



左から、井出康太さん、庄司恵美さん、米田徹さん、重松良平さん家族

1月28日JA宗谷南女性部の新年交流会が行われました。今年度は女性部員19名が集まり、来賓にはJA宗谷南向井地組合長、宗谷農業改良普及センターより戸叶地域係長・小泉専門普及員を迎え、来賓代表として向井地組合長より近年の農業情勢などを話していただきました。

例年、ホテルニュー幸林が歌登グリーンパークホテルで開催していましたが、今年は久しぶりに会場を変え、きたやにて開催しました。料理がとておいしかったと大好評でした。

今年も景品を持ち寄り、ビンゴゲームを開催し、中身はあけるまでのお楽しみという事で大いに盛り上がり、最後の景品は、奥出部長とのジャンケンにて先着1名を競いました。

新年初の女性部活動として、大いに親睦を深め、今年も女性の活躍に大いに期待出来るのではないのでしょうか。



宗谷南農協女性部 新年交流会

枝幸保育所食育紙芝居

みるきいちゃん登場！
お土産配布と記念撮影をしました



牛乳・コーヒー牛乳セット他お絵かきやお勉強に使えるメモ・自由帳やご両親向けのミルク料理レシピ、ミラクルシッパ―他数点を配布しました。



食育紙芝居の読み聞かせをする
今青年部部长（写真中央右）
牛乳のひみつについてお勉強しました



青年部より、盟友5名が参加しました。
保育所職員の皆様もイベントにご協力頂き、ありがとうございます。

2月22日にJA宗谷南青年部とマスケットのみるきい
ちゃんが枝幸保育所で牛乳にまつわる紙芝居で食育活
動を行いました。

JA 宗谷南青年部



JA YOUTH

ホクレン稚内支所様より
多数のPRグッズを頂きました。
ご協力ありがとうございます。
牛乳の味が変わるストロー
ミラクルシッパ―他



枝幸保育所の子供たちはしっかりと酪農の話を聞いてくれました。途中、出産などで命を落とすこともあるという話が出た時には、「しんじゃだめ」と言う声が聞こえたのが印象深かったです。これをきっかけに、酪農に興味を持ってもらえたらと思います。

組合員資格確認のお願い

宗谷南農業協同組合

当JA定款規定により、組合員加入申込時の提出書類事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けてもらうことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA本・支所窓口へお申し出いただきますようお願い致します。

【当組合の組合員資格】

1 正組合員資格

- (1) 5ヘクタール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区にあるもの
- (2) 1年のうち150日以上農業に従事する個人であって、その住所又は、その従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
- (3) 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

2 准組合員資格

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- (2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (4) 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員となっている団体で協同組織のもとに当該構成員の共同の利益を増進することを目的とするものその他この組合又はこの組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員又は出資者となっている団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

＊ 当組合の目的地区は、北海道枝幸郡枝幸町一円の区域とする。

祝 新小学1年生 ご入学おめでとうございます



岡島地区 浜口牧場

みゆう

浜口 美優ちゃん(父:昌拓)

4月から岡島小学校に入学する美優ちゃん、「誰とでもすぐに仲良く出来る美優ちゃんですが、初めての集団生活なので大丈夫かなぁ」と心配する昌拓さんに対し、美優ちゃんは、「小学校へ行ったら、皆で遊ぶのが楽しみ(特に雪遊びが好き)」とお父さんの心配をよそに、今から学校生活が楽しみようです。

山臼地区 ファーム和楽

こうた

山岸 眺大くん(父:也須彦)

4月から山臼小学校に入学します。眺大くんは「小学生になったら、勉強と体育を頑張る、そして給食が楽しみ。」と笑顔で話してくれました。お父さんの也須彦さんは、「眺大は、とにかく明るく音楽が大好きな子で、小学校では勉強よりも良い友達関係を築いたり、社会性を身に付ける事を期待しています。」と語ってくれました。



乙忠部地区 福士牧場

るか

福士 瑠椛ちゃん(父:高貴)

4月から乙忠部小学校へ入学する瑠椛ちゃんは、お絵かきと水泳が得意という事で、小学校へ行ってもお絵かきと水泳が楽しみの様子。他にも算数を頑張るなど活発で明るい子です。

お母さんは、「お家では妹の面倒をよく見たりおねえちゃんらしいところもあり、勉強の他にも家のお手伝いもしてくれる子になってくれればうれしい。」と話してくれました。

右:瑠椛ちゃん
左:美穂ちゃん(妹)

風烈布地区 梶野牧場

さんご

牧野 山湖くん(父:学)

4月から風烈布小学校へ入学します。なにより友達と遊ぶのが大好きで、特に鬼ごっこなど走る事が好きとのこと。小学校へ行ったら体育が楽しみと話してくれました。また今から字の練習をしている様子、家では妹思いの優しい子で、家の手伝いもよくしてくれているので、これからの成長が楽しみです。



風烈布地区 山下牧場

みみ

山下 美心ちゃん(父:豊)

4月から風烈布小学校へ入学します。「美心ちゃんは4人姉妹の3女で姉妹の中でも恥ずかしがり屋で甘えん坊なところがあるが、意外としっかりしたところもあり、小学校へ行ったらしっかりやってくれる事を期待しています。また、幼馴染も多く楽しい学校生活が送れると思います。」とあまり心配はしていない様子でした。

歌登本幌地区 菅原牧場

てっぺい

菅原 鉄平くん(父:一人)

4月から歌登小学校へ入学します。

鉄平くんは、とても明るくやんちゃな男の子。最近ゲームが好きな様です。小学校に入ったら「バス通学が楽しみ。」と笑顔で答えてくれました。



歌登大奮地区 石田牧場

あいり

石田 愛理ちゃん

4月から歌登小学校へ入学する愛理ちゃんは、4人兄弟の紅一点で、普段からとても明るく、兄弟と外遊びが大好きな子です。「4月からランドセルを背負って通学する事がとても楽しみ。」と話してくれました。

第28回JA北海道大会 パネリスト提言

第二十八回JA北海道大会 パネルディスカッション
農業価値の向上をけん引する北海道農業
若者がほしがる我が国農業

北海道経済連合会 名誉会長 近藤 龍夫 氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで紹介します。

一人目は、近藤龍夫氏の提言を紹介します。

北海道が率先して国民への農業価値理解活動を

農業価値とは農業の存在価値的な意味合いと理解して頂きたい。世界的には、『国土を確保して守ること』、『エネルギーを確保すること』、『農業を主とする食を守ること』、『この3つが国として最低限やらなければならないこと。』

国家的に食・農業を価値ある重要なことと位置付けている国がたくさんある。食・農業を大事にしなければならぬ。

しかし、わが国では、農業の重要性、農業価値が忘れられてきた感がする。

将来的には世界的な食料危機がささやかれ始めており、今こそ農業の重要性の国民的な理解が必要。政治や、幼少教育の場などを通じて農業立国北海道が率先して理解活動を行っていくべき。この理解こそが正しい農業の普及につながる力にもなる。

北海道農業実現に向けた国の制度づくりを

これからの農業政策において、国民に必要な基礎的な食材にあたる重要品目については、国が一定の自給力を確保するということを前提として、確たる生産目標と、その実現のための政策・制度を定める。そして、目標達成に協力する優良な農家が安心して生活し、生産に励むことができるように守るべくと守るは守るなどして、生産環境を整備していく必要がある。

このような生産環境づくりの政策提言や生産活動の推進すなわち農業価値向上のけん引役として、北海道が産学官 一体となって国を動かして実現を目指すべき。

これらが実現してこれまでの猫の目のように変わる対策型の政策ではなく不動の政策となれば、国民とりわけ農業者の望むところであって、「若者が欲しがらる農業」として目指すところが明確になるので、将来に希望がもてる北海道農業が実現しているのではないかと信じている。

行きつくところ、日本の農業は、北海道的な農業に変わっていくべき。それが、世界の常識的な農業の姿。

積極的に中央に出ていき、国の制度作りに参加する。北海道農業に近い制度をつくるようにもっていく。それには農業者だけでなく、北海道大学にもなってもらう。また、例えば農業に経済的なセンスを入れるときも、経済家ではなく、農業経済は農家がやれるよう北海道大学に力になってもらう。農業経済は農家に任せておけというくらい、農業者は日本経済全体にも関わっていく力を持つべきで、農業の専業地帯である北海道から発信するのが産学連携の形である。

そろそろ日本の農業構造を変えるべき時に来ている。やはり、北海道から発信していくのが一番素直な姿であり、スタートポイントになって欲しい。

最後に一言

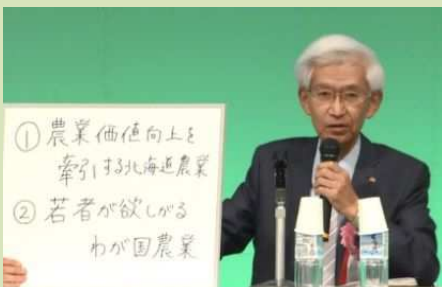
力強い農業が今回の大会の基本目標になっている。そのためには生産、加工、流通、販売、それぞれがこれからの農業には特に科学的に、そして経済学的にも世界の最先端、高度化を図って日本の農業をリードする、そんな北海道農業になって頂きたい。

近藤 龍夫 氏

(こんどう たつお)

北海道経済連合会 名誉会長
公益社団法人北海道観光

振興機構 会長



第28回JA北海道大会 パネリスト提言

第28回JA北海道大会 パネルディスカッション
所得増につながるより強固なプラットフォームへ
平成30年にむけて激論を

株式会社セイコーマーケット社長 丸谷 智保 氏



丸谷 智保 氏

まるたに ともやす
株式会社セイコーマーケット社長

二人目は、丸谷智保氏の提言を紹介します。

流通機構、構造を簡素化して中間マージンの排除

セイコーマーケットグループ全体で農業法人として108haを耕作しているが、農業における流通機構、構造をより簡素化して、中間マージンを排除し、農業所得に振り向けることが重要だと思う。そのためより強固なプラットフォーム(基盤)として、農協あるいは中央会の必要性はより強まっている。それから、例えば、簡素な、効果的な流通機構という点については、歩留りを上げるため非正規品、ハネものが流通する市場をつくる。常に苦勞する歩留まり向上にどれだけ繋がるマーケットを創造できるか。

海上輸送の効率化

我々も物流には苦勞している。遠い農村から市場の都市あるいは首都圏へ物流するコストは非常に大きい。北海道は、どうしても海上輸送が必要になるが、これを効率化する。

そういう意味でも組織の意味は強い。効率化を進めることで、所得を増加させ、配分を変えていく。

また、プラットフォームである農協が商品の価格を評価し、即買い取り、即支払う仕組みを作っているかどうか。資金繰りの向上につながる。

その他に、農繁期の人材の確保、販路拡大。これらは今でもやっているが、より強固にしていく。

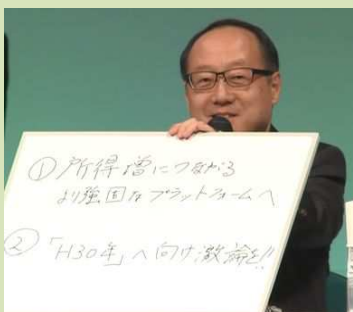
そして安定供給、物流面での大胆な提言、これは政府に対してもやっていく。こういったことをすべき組織としてより強いものを作っていくかどうか。

戦から外交戦略へ

平成30年に向けて激論をし、結論を出してほしい。もうその時期に入っている。これから平成30年の大会に向けて、守るとか防衛するということをするのではないかと、外交戦略・外交交渉をすべきではないか。

戦と外交の違いは、戦は勝つべき戦だが負けるかもしれない。外交は100%はとれないが、最低限守るべきものは守る、あるいは主張すべきものは主張してとる、ということ。

そういったことを踏まえた真摯な議論・激論、そして結論を出すことをご提言申し上げたい。



今回、所得増の具体的な数値目標を掲げたのは素晴らしい。議論を尽くして、2つでも3つでも具体論に結び付ける。やって、だめだったらまたやる。

物流を見直す、法律化する、政府から引き出す。例えば、農産物を運ぶのに高速道路を使えばタダにする。フェリー代を安くすれば、競争力のある農産物をもっと本州に出せるかもしれない。所得の分配に結びつく具体的な議論をして一致団結してぶつける外交交渉に入っていくべきではないか。

最後に一言

セイコーマーケットでは、ほとんど北海道の原材料、農産物を使っており、大地の恩恵をものすごく受けていると感じる。北海道は特別な地域だが、中央では、ひとつくくりで見られてる。550万人のサポーターを味方につけて、北海道から日本全国の農業の重要さを、ぜひ組織力を発揮して発信して頂きたい。

授精所だより

ホルスタイン種の遺伝性疾患①

I はじめに

日本のホルスタイン集団における近交係数は1990年代初めから2000年代中頃にわたり、急速に上昇しました。優秀な種雄牛はより多く供用されるので、特定の家系から作出された種雄牛の娘牛ばかりが増えてきました。そして、このような家系の類似した種雄牛が何世代にもわたり繰り返し供用された結果、近交係数が上昇してきました。近交係数の上昇は劣性遺伝子の発現頻度を上昇させ、さらには今まで存在さえも知られていなかった新しい劣性遺伝子を発見する機会も増えていきます。多くの遺伝性疾患はこの劣勢遺伝子に隠れています。



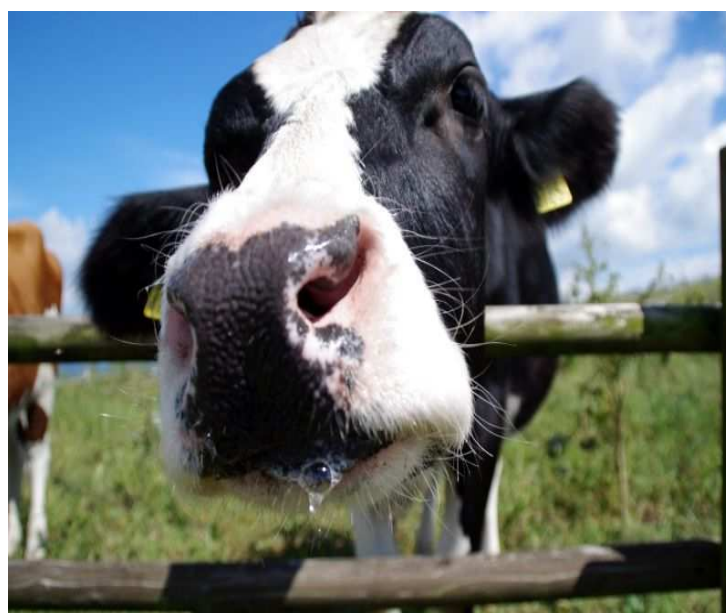
II 登録規定による遺伝性疾患

日本ホルスタイン登録協会では、改良上排除すべき著しく生理機能を損ずる遺伝的劣形質のあるものを登録しないと定めています。

これらの遺伝的劣形質は具体的に「遺伝的劣形質調査要項」の中で列記されていますが(表)、血統登録牛から生産された子牛が当該の劣形質を発現した場合、すみやかに日本ホルスタイン登録協会に報告し、当該子牛は血統登録できないことを規定しています。ただし、乳用牛として機能する長期在胎、無尾および乳頭異常については、例外として血統登録を可能にしています。

表. 社団法人日本ホルスタイン登録協会が遺伝的劣形質調査要項で対象とする遺伝的劣形質

遺伝的劣形質	
1	長期在胎
2	無毛
3	軟骨発育不全(ブルドック型)
4	先天性盲目
5	単蹄(癒合趾症)
6	矮小子
7	無尾
8	口蓋骨閉鎖不全
9	BLAD(牛白血球粘着性欠如症)
10	上皮不全
11	遺伝性筋れん縮
12	乳頭異常(盲乳頭、融合乳頭等)
13	ポルフィリン病
14	DUMPS(ウリジン酸合成酵素欠損症)
15	CVM(牛複合脊椎形成不全症)
16	その他



日本の後代検定事業ではBLADとCVMを保因しているヤングブルは候補種雄牛にエントリーしないよう申し合わせているので、種雄牛サイドが原因で遺伝病が発現しないような工夫が取られています。

このように、近交係数が上昇すると近交退化だけではなく、遺伝性疾患のリスクが高まります。

授精所では種雄牛の選定を行う際は、牛や近交係数が高くなりすぎないように牛を選定しています。

授精時には近交回避情報のリストをチェックするようにしているので、選定ごとに配布している近交回避情報のリストを台帳と一緒に保管してください。

平成27年度農協資格試験合格者

特級資格試験（正職員52名 うち取得者 1名）

今年度合格者無し

上級資格試験（正職員52名 うち取得者25名）

経済部	領毛 義広
管理課	今家 俊二
酪農畜産課	武田 紀章
金融共済課	佐藤 正規

中級資格試験（正職員52名 うち取得者31名）

管理課	可香谷 香
管理課	浦谷 正憲
金融課	阿部あゆみ

初級資格試験（正職員52名 うち取得者42名）

油脂燃料課	成田 圭吾
生産資材課	澤藤 遥可
営農課	飯田 達也

営農指導員試験（正職員52名 うち取得者 4名）

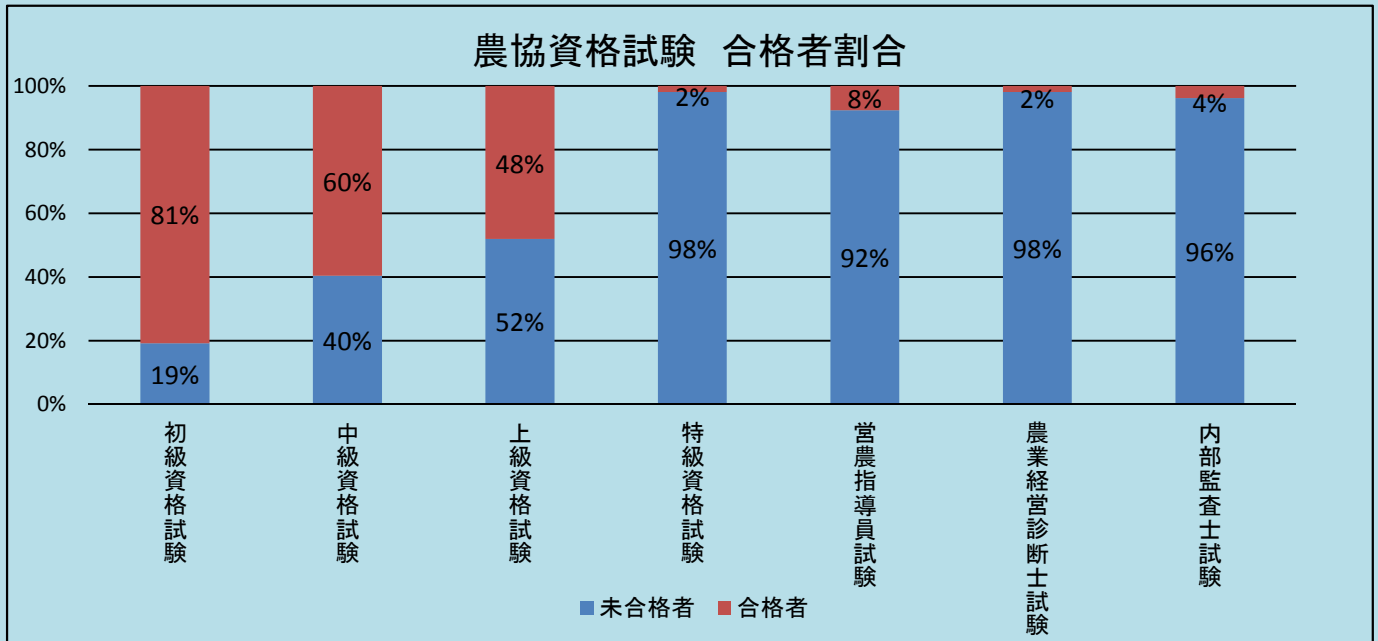
今年度合格者無し

農業経営診断士試験（正職員52名 うち取得者 1名）

今年度合格者無し

内部監査士試験（正職員52名 うち取得者 2名）

管理課 高島 理恵



編集委員
 浦高森滝川伊村
 谷本川口合藤田
 正等忠直直太
 憲 幸也樹良

新規職員採用情報

経済部 生産資材課 生産資材係
 宮内 信一

前職は建設業に20年携わってきました、今までとは違った仕事ではありますが毎日を大切にしっかりと仕事を覚えて、早く1人前になれる様頑張りますので、皆様宜しくお願い致します。

また、趣味は音楽(演奏します。)と野球が大好きです。

